

第77回日本体力医学会大会のご案内（第2報）

第77回日本体力医学会大会は下記のように準備を進めております。一般研究発表抄録の登録および学会誌「The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine (JPFMSM) Vol. 11, No. 6」への抄録提出はすべて大会ウェブサイト上で行います。本大会の一般研究発表への応募は学会員に限りませんが、共同研究者は学会員でなくともかまいません。

なお、最新情報は第77回大会ウェブサイト (<https://www.right-stuff.biz/jspfsm77/>) をご覧ください。

記

1. 会 期：令和4年9月21日(水)、22日(木)、23日(金・祝)
2. 会 場：栃木県総合文化センター
(〒320-8530 栃木県宇都宮市本町1-8)
3. 名誉大会長：吉田 謙一郎（獨協学園理事長、獨協医科大学学長）
4. 大 会 長：小橋 元（獨協医科大学副学長・医学部公衆衛生学講座教授）
5. 大会事務局：獨協医科大学 医学部公衆衛生学講座内
第77回日本体力医学会大会事務局
〒321-0293 栃木県下都賀郡壬生町大字北小林880
TEL：0282-86-1111（代表）
運営事務局：株式会社ライトスタッフ内
第77回日本体力医学会大会運営事務局
〒910-0019 福井県福井市春山1丁目1-14 福井新聞さくら通りビル3階
TEL：0776-25-7201 FAX：0776-25-7202
E-mail：jspfsm77@right-stuff.biz
6. 大会プログラム（予定）
 - (1) 大会長講演
 - (2) 特別講演
 - (3) 教育講演
 - (4) シンポジウム
 - (5) ワークショップ
 - (6) 一般研究発表（口頭・ポスター）
 - (7) ランチョンセミナー
 - (8) 学会賞受賞講演
 - (9) その他

参加登録方法

1. 参加登録の方法

大会に参加するには参加登録が必要です。参加登録方法は、事前登録および当日登録があります。事前登録は大会ウェブサイト上で、当日登録は大会会場受付で行います。なお、事前登録され、大会参加費を納入された方には大会開催前に予稿集、大会参加証をお送りする予定です。

2. 大会参加費（予定）

学会会員	事前登録	一般	10,000円	学生	5,000円
	当日登録	一般	12,000円	学生	7,000円
非会員	事前・当日登録	一般	12,000円	学生	7,000円

3. 事前登録

（1）事前登録期間

2022年4月1日(金)～7月26日(火) 正午まで

（2）事前登録方法

事前登録は大会ウェブサイト参加登録のページから、案内に従い登録を行ってください。

第77回学会大会ウェブサイト：<https://www.right-stuff.biz/jspfsm77/>

※オンライン登録以外の事前登録方法はございませんので、ご注意ください。

（3）事前登録の参加費支払い方法

後日公開する大会ウェブサイト参加登録のページをご参照ください。

（4）当日登録方法

事前登録をされていない方が本大会に参加する場合は当日登録をしていただくことになります。大会開催期間中は、受付に当日登録窓口を設置しますので、必ず登録をお願いいたします。

※大会の一般研究発表への応募は学会員に限ります。共同研究者は学会員ではなくてもかまいません。会員および非会員の共同研究者が本大会に参加する場合は大会参加費が必要となります。

※大会の一般研究発表へ応募される方は、事前参加登録を事前に完了いただく必要があります。

シンポジウム募集のお知らせ

第77回日本体力医学会大会では、シンポジウムを会員より募集します。提案を希望される方は以下の要領でご応募下さい。

【応募資格】

日本体力医学会会員

【応募方法】

1. 応募申込要項

シンポジウム応募申込登録を、第77回学会大会ウェブサイト：<https://www.right-stuff.biz/jspfsm77/>にて行ってください。

2. 締め切り

2022年3月4日(金) 正午まで

【選考方法】

第77回日本体力医学会大会学術企画ワーキンググループで審査し、選出する予定です。

【結果通知】

選考結果は2022年3月下旬までに、シンポジウムオーガナイザー宛に通知いたします。

【注意事項】

応募者は会員に限られますが、座長・演者は非会員でも可とします。また、非会員の座長・演者に対しては大会参加費徴収を行いません。なお、旅費・謝礼等に関しては、大会事務局では負担できませんので、予めご了承の上、ご応募ください。

演題応募方法

【登録資格】

大会への一般研究発表演題登録ができるのは、大会事前参加登録を完了した会員番号を持つ日本体力医学会員に限ります（会員番号は会員名簿に記載）。共同研究者は学会員でなくてもかまいません。非会員の方で日本体力医学会に入会希望の方は、日本体力医学会ウェブサイトからオンラインで入会手続きを行って下さい（自動返信メールで会員番号が通知されます）。FAX・郵送の場合は入会手続き後、会員番号がお手元に届くまでに数週間かかりますので、お早めの手続きをお願いします。

●入会申し込み・問い合わせ

事務局：一般社団法人日本体力医学会

〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13 ユニゾ小石川アーバンビル4階

学会支援機構内

Phone: 03-5981-6015（学会専用） Fax: 03-5981-6012（学会支援機構）

E-mail: jspfsm@asas-mail.jp

【登録方法】

演題登録開始：2022年4月1日（金）正午から

締切：2022年5月19日（木）17時まで

一般研究発表の演題登録の際には、予め大会ウェブサイト上で事前参加登録をお済ませください。

一般研究発表は、口頭発表とポスター発表の2種類です。発表予定者の方々は発表形式の選択を行って下さい。ただし、口頭発表には限りがありますので、希望に添えない場合があります。発表形式の決定は第77回日本体力医学会大会に一任させていただきますことをご了承下さい。発表形式の決定は演題採択時にお知らせいたします。なお、発表者としての一般研究発表への登録は、会員1名につき1演題に限ります。共同研究者としての演題登録は、何演題でもかまいません。

演題登録は大会ウェブサイト演題募集ページより、案内に従って進めて下さい。最初に演題登録した際に自動的に演題登録番号が発行されます。また、登録者ご本人に任意のパスワードを決めていただきます。登録番号とパスワードは、登録の変更と、後日の「JPFISM Vol. 11, No. 6」掲載用抄録の登録に必要ななりますので忘れることのないようご注意ください。毎年、パスワードを失念されたとの問い合わせが事務局宛に多くありますが、事務局では一切対応できません。

大会ウェブサイトURL: <https://www.right-stuff.biz/jspfsm77/>

<一般研究発表された演題の抄録は英文とし学会誌「JPFISM Vol. 11, No. 6」に掲載します>

※英文抄録は発表者各自でネイティブチェックを受けることを推奨します。

「JPFISM Vol. 11, No. 6」の掲載用抄録の登録期間

開始 2022年7月上旬（採択通知到着後から）

締切 2022年9月30日（金）正午まで

締切を過ぎると「JPFISM Vol. 11, No. 6」への抄録の掲載ができません。

【その他】

- (1) 会員の使用コンピューターの問題で演題応募ができない場合でも特別の配慮はいたしません。
- (2) 登録番号、パスワードに関するお問い合わせにはセキュリティーの関係上応じられません。登録番号とパスワードは大切に保管して下さい。
- (3) トラブル発生などの情報は、ウェブサイト上に随時掲載いたします。

査読をお願いした先生方は次の方々です

2020年12月1日～2021年11月30日投稿分

天 笠 志 保	北 濃 成 樹	膳 法 亜 沙 子	引 原 有 輝
綾 部 誠 也	木 戸 康 平	蘇 リ ナ	広 瀬 統 一
新 井 彩	久 保 慶 東	田 島 敬 之	藤 井 直 人
安 藤 大 輔	神 崎 素 樹	田 中 茂 穂	藤 井 悠 也
石 原 健 吾	小 西 可 奈	田 原 圭 太 郎	二 橋 元 紀
板 倉 尚 子	小 西 真 幸	田 卷 弘 之	細 川 真 登
市 原 英	小 林 茂	辻 文	前 大 純 朗
今 井 厚	小 林 亮 太	津 田 龍 佑	松 本 孝 朗
浦 辺 幸 夫	小 宮 諒	富 樫 健 二	水 澤 克 子
大 石 徹	近 藤 早 希	鳥 居 俊	宮 口 和 義
大 上 安 奈	近 藤 徳 彦	仲 立 貴	宮 崎 亮
大 藏 倫 博	齊 藤 慧	永 井 宏 達	宮 下 浩 二
大 西 範 和	齋 藤 義 信	中 口 拓 真	宮 本 忠 吉
小笠原 一 生	坂 本 彰 宏	中 野 貴 博	村 上 太 郎
小笠原 理 紀	笹 井 浩 行	中 村 大 輔	八 十 島 崇
尾 方 寿 好	佐 々 木 康	難 波 秀 行	山 田 陽 介
小 熊 祐 子	笹 田 周 作	西 多 昌 規	和 坂 俊 昭
尾 崎 隼 朗	佐 藤 幸 治	長 谷 川 博	渡 辺 英 次
柿 木 亮	杉 崎 範 英	林 直 亨	渡 邊 航 平
莉 山 靖	鈴 木 伸 弥	原 田 和 弘	渡 邊 裕 也
川 上 諒 子	鈴 木 誠	原 村 未 来	
菊 池 直 樹	清 野 諭	東 田 一 彦	

86名 (五十音順, 敬称略)

一般社団法人日本体力医学会定例理事会（2021年9月）議事録

日 時：2021年9月16日(木) 午後5時30分～6時00分

場 所：ZoomによるWeb会議

議 長：鈴木政登理事長

出席者：鈴木政登理事長、

碓井外幸、西平賀昭各副理事長、

武政 徹常務理事、赤間高雄、太田 真、

大野 誠、後藤勝正、小山勝弘、下光輝一、

須田和裕、須永美歌子、竹森 重、中里浩一、

永富良一、成田和穂、浜岡隆文、前田清司、

宮内 卓、宮川俊平各理事、

井上 茂、清田 寛各監事、

加藤 公第76回大会長、

小橋 元第77回大会長

欠席者：井福裕俊、栗原 敏、新開省二、田中喜代次、

和気秀文各理事、小林康孝、定本朋子各監事

【審議事項】

1. 前回議事録の承認（鈴木理事長）

前回理事会議事録の内容確認の際、数か所の訂正があった。理事会終了時まで他に他の訂正等がなかった場合、自動的に承認されることにした。

2. 理事会開催日程について（鈴木理事長）

資料に基づき、今後の理事会日程案が提示され、他学会の大会日程を鑑み、調整した上で、以下の通り2022年9月までの理事会日程が決定した。

- ・2021年11月19日(金)
- ・2022年2月18日(金)
- ・2022年5月20日(金)
- ・2022年9月2日(金)
- ・2022年9月20日(火) ※第77回栃木大会前日

3. 学会員減少抑制対策について（鈴木理事長）

前回の理事会で審議された、退会者数を減らす具体的な方策について、碓井副理事長、後藤理事から様々な提案があった。その中で、碓井副理事長から、会費の自動引き落としシステム導入の提案があった。調査したところ、2年間の会費未納による自然退会者が多く、近年の新規入会者数を上回っていた。自然退会者

は年会費の納入を忘れ、2年間滞納し、物理的に退会となった会員であり、退会の意思がなかった会員であると思われる。これは、会費納入の失念がない、自動引き落としシステムを導入することによって、自然退会者を抑制できると考えられる。

これにより、会費の自動引き落としシステムを導入することが提案され、審議の結果、承認された。

【報告事項】

1. 各種委員会報告

鈴木理事長より、本理事会終了後、引き続き評議員会兼社員総会が開催され、各種委員会報告がなされることとなっていたため、2021年8月27日の理事会に於ける各種委員会報告以降に生じた、新たな報告事項があれば、この理事会にて報告していただくよう、依頼があった。その結果、編集委員会報告のみとなった。

・編集委員会（後藤編集委員長）

資料に基づき、報告がなされた。

仮想インパクトファクター

（クラリベイト・アナリティクス社調べ2021.8.23）

2020年に引用された回数39回／2018年～2019年に掲載されたすべての論文数66編

「JPFMS誌」 $39 \div 66 = 0.59$

（2019年 $20 \div 86 = 0.23$ ）（2018年 $46 \div 93 = 0.49$ ）

（2017年 $45 \div 92 = 0.49$ ）（2016年 $28 \div 116 = 0.24$ ）

（2015年 $16 \div 140 = 0.11$ ）

2. 第76回（三重）大会の進捗状況（加藤第76回大会長）

資料に基づき、大会の準備状況と大会概要等が報告された。

会 期：2021年9月17日(金)～19日(日)

会 場：オンライン開催

テーマ：「知の継承と共有」

3. 第77回（栃木）大会の進捗状況（武政総務委員長）

小橋大会長より、大会の準備状況について報告された。

会 期：2022年9月21日(水)～23日(金)

会 場：栃木県総合文化センター

一般社団法人日本体力医学会 令和3年度評議員会 議事録

日 時：2021年9月16日(木)

午後6時00分～午後6時55分

場 所：ZoomによるWeb会議

議 長：下光輝一

出席理事監事：鈴木政登、碓井外幸、西平賀昭、

武政 徹、赤間高雄、太田 真、

大野 誠、後藤勝正、小山勝弘、

下光輝一、須田和裕、須永美歌子、

竹森 重、中里浩一、永富良一、

成田和穂、浜岡隆文、前田清司、

宮内 卓、宮川俊平各理事、

井上 茂、清田 寛各監事

出席社員数：22名（議決権個数22個）

議事録作成者：下光輝一

議事に先立ち、加藤大会長より、挨拶と第76回大会概要の報告がなされた。続いて、武政常務理事により、「Zoomを用いたWeb形式による評議員会兼社員総会が成立するのか」について説明された。定款によれば、評議員会は現評議員数508名のうち、委任状を含めて過半

数(254名)以上の出席があれば開催可能となる。現時点(2021年9月16日午後5時30分)で、評議員Web登録委任状および往復はがき委任状併せて305名、Web理事会に出席している22名の理事、監事は全て評議員であり、合計327名となる。過半数254名を超えたので評議員会の開催が成立する旨、報告された。一方、社員総会については、定款第19条に“社員総会の決議は、出席した正会員の議決権の過半数をもって行う”と記載されており、何人以上の正会員の出席が必要という決まりはない旨、説明された。2021年9月16日のWeb形式社員総会に参加した会員数は22名であり、11名以上の承認によって決議される。尚、例年、評議員会兼社員総会会場に於いて配布される会議資料は日本体力医学会HPに掲載されていることが報告された。

武政常務理事により、Web形式による令和3年度評議員会開催が宣言された。

【報告事項】

1. 令和3年度庶務報告に関する件(武政総務委員長)

1) 会員総数 3,787名(2021年7月31日現在)

名誉会員	33名
正会員	3,696名
シニア会員	46名
外国会員	6名
賛助会員	6団体

公益財団法人石本記念デサントスポーツ科学振興財団、鶴岡印刷株式会社、公益財団法人明治安田厚生事業団、大塚製菓株式会社、大正製薬株式会社、株式会社ウイスマー

2) 役員数

評議員	508名
(内) 医師	75名
(内) 非医師	433名
(内) 理事	25名
監事	4名

3) 購読数 130団体

体力科学	123団体
JPFMSM	7団体

4) 年度内入退会状況

新入会員	237名
退会者	414名
(内) 申込者	185名
自然退会	229名

2. 令和3年度事業報告に関する件(各委員長)

以下のとおり令和3年度事業について報告された。

1) 事業期間

2020年8月1日～2021年7月31日

2) 委員会活動

・総務委員会

◎本学会の庶務に関する事項

中富健康科学振興賞候補者推薦に関する情報収集、候補者検討2020年7月2日付で依頼のあった中富健康科学振興賞につき、本学会理事である下光輝一氏を中富健康科学振興賞授賞候補者として推薦した(2020年9月7日)。

◎学会大会長に関する事項

第77回大会(栃木)の大会長候補者として、小橋元氏(獨協医科大学医学部公衆衛生学講座教授)を2020年11月20日の理事会において推薦した。

・編集委員会

◎学会誌出版(学会誌刊行に係わる事業及び電子ジャーナル公開)

「The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine (JPFMSM)」

Vol. 9のNo. 4, No. 5, No. 6; Vol. 10のNo. 1, No. 2, No. 3

「体力科学」

Vol. 69のNo. 4, No. 5, No. 6; Vol. 70のNo. 1, No. 2, No. 3

※電子ジャーナルの公開は、J-STAGE『印刷前公開』での実施

※DOAJへのメタデータアップロード開始

(創刊号からのバックナンバーもアップロード済)

◎JPFMSM掲載論文リストのメール配信

◎DOAJ収載に向け投稿規定改訂

論文種別「Study Protocol」を「Study Profile」に変更(2020.10.28)

剽窃チェックソフトJ-STAGE Similarity Check運用開始(2020.11.12)

◎JPFMSM誌、DOAJ(Directory of Open Access Journal)に収載(2021.1.7)

◎ジャーナルの活性化対策の検討「特集号」の掲載・企画

注目されているhot topicに焦点を当てた「特集号」を掲載

「JPFMSM」Vol. 10, No. 3

第3回特集: Global trends in high-intensity interval training (HIIT) 5編掲載

「体力科学」Vol. 69, No. 6

第4回特集: 労働衛生分野における体力科学研究 5編掲載

・学術委員会

1. スポーツ医学研修会委員会

新型コロナウイルス感染拡大を受けて本研修会は本年度も中止の旨2月19日理事会にて報告した。中止の決定は本学会ホームページおよび体力科学70巻2号にて告知した。

2. 称号委員会

「日本体力医学会健康科学アドバイザー®」2021年度: 授与・贈呈者数16名に贈呈した。

※「コロナ禍」で影響を受けている。

3. 学会賞選考委員会

第34回日本体力医学会学会賞候補の選考を行った。

4. ガイドライン検討委員会

「生活習慣病の蔓延」と「高齢化の進行」が本邦で大きな社会問題となっているため、「健康寿命の延伸」を目指した活動を視野に入れたガイドラインの作成などを進めている。さらに、競技スポーツにおける安全対策、特に熱中症対

策やアンチドーピング等についてのガイドライン作成も進めている。

- ・財務委員会
令和4年度予算案の作成と令和3年度の予算の適切な執行の確認。
- ・利益相反委員会
情報収集に努めた。
- ・評議員選考委員会
 1. 令和2年度新評議員候補者8名を選定し、理事会、評議員会兼社員総会にて承認を受けた。
 2. 令和3年度新評議員候補者19名を選定した。
 3. 評議員候補者申請書における推薦者3名の署名・捺印を廃止して、各推薦者の氏名と学会員番号の記載のみで済むように簡素化をはかり、あわせて候補者の性別記載については本人の自由意志に任せる方向で申請書の書式を変更する案を提案することを決議した。
- ・渉外委員会
 1. 国際交流事業
 - 1) ECSSオンライン2021(9月予定)
ECSS-JSPFSM Exchange Symposium
産業技術総合研究所 菅原順先生(座長・演者)、徳島大学 三浦哉先生(演者)「動脈ステイフネスと運動トレーニング」(採択)
 - 2) 2020横浜スポーツ学術会議(2020.9.8-12)のシンポジウム担当
(http://yokohama2020.jp/jp/index_jp.html)
 - 3) 他の国際学会との連携
 - (1) World Sports Medicine and Health Summit 2021(ドイツスポーツ医学会主催) 身体不活動撲滅Hamburg宣言2021参加。
 - (2) ACCESS(Asian College of Exercise & Sports Science) 設立準備
 2. 国内関連学術団体との交流・連携
 - 1) 脳心血管病予防に関する包括的管理合同会議
 - 2) 国内学会との連携
 - (1) 日本生理学会大会
 - (2) サルコペニアフレイル学会, 日本臨床運動療法学会など
- ・倫理委員会
 1. 会員の研究倫理の意識向上の教育・啓発
(第75回鹿児島大会にて教育講演実施)
 2. 大会の演題応募における倫理的手続きの検討
- ・広報委員会
 1. 学会ホームページの管理・運営
- ・男女共同参画推進委員会
 1. 男女共同参画学協会連絡会への参加
 2. ワークショップ開催に関する検討
- ・全国地方会実行委員会
遠隔での地方会大会を開催する地方会の情報を仲介するとともに、地方会がない地域の解消を目指して甲信越地区に関東地方会の支部を形成することを検討している。
- 3) 第75回日本体力医学会大会の実施
大会長: 徳田修司(鹿屋体育大学特任教授・鹿児島大学名誉教授)

会期: 2020年9月24日(木)~26日(土)

会場: Web開催

4) 令和4年度日本体力医学会健康科学アドバイザー®称号認定者

・継続 12名

五十嵐美生	一場友実	燕木智子
沢田秀司	志内哲也	進藤大典
新屋敷紀美代	谷口圭吾	中川和昌
松元隆秀	三輪雅子	和田浩

・終身 4名

江川賢一	星川佳広	前岡修二
吉田泰行		

3. 令和4年度事業計画に関する件(各委員長)

令和4年度事業計画について、以下のような報告がなされた。

1) 事業期間

2021年8月1日~2022年7月31日

2) 委員会活動

・総務委員会

第78回佐賀大会の大会長の推薦

中富健康科学振興賞候補者推薦に関する申し合わせの見直し

学会総務に関わる規則の見直し

・編集委員会

1. ジャーナルの発行、公開(J-STAGE, DOAJ)

JPFMSM: Vol. 10-4~11-3(合計6号)

体力科学: Vol. 70-4~71-3(合計6号)

2. 掲載論文数を増やす

[JPFMSM]: 特集を掲載する。

[体力科学]: 特集を掲載する。

3. 「ACSM運動処方指針」の翻訳本の出版について南江堂と調整

4. JPFMSMに掲載する大会抄録における研究倫理記載事項の検討

・学術委員会

1. スポーツ医学研修会委員会

第31回スポーツ医学研修会(於日体大)の実施(学会HP・体力科学に案内を掲載)

※令和2年度および3年度に中止した第31回スポーツ医学研修会を実施。

2. 称号委員会

日本体力医学会健康科学アドバイザー®の審査を申請により実施する。

[称号の有効期間である5年間(継続申請のための再研修基準として、5年間で10点の研修単位が必要。)に、令和2年(2020年)度と令和3年(2021年)度分をカウントしない(除いて5年間の意。)] 詳細は以下の通りとする。尚、令和3年(2021年)度中に、5年間で研修単位10点を満たし、継続申請をされた方には、例年通りに称号を付与する。

<2020年度分及び2021年度分を除く有効期間5年間について>

※2015年度からの5年間分は、2020年度及び2021年度を除く2022年度分までの5年間の研修単位10点

- で称号付与
- ※2016年度からの5年間分は、2020年度及び2021年度を除く2023年度分までの5年間の研修単位10点で称号付与
- ※2017年度からの5年間分は、2020年度及び2021年度を除く2024年度分までの5年間の研修単位10点で称号付与
- ※2018年度からの5年間分は、2020年度及び2021年度を除く2025年度分までの5年間の研修単位10点で称号付与
3. 学会賞選考委員会
第35回日本体力医学会賞候補の選考を実施
4. ガイドライン検討委員会
わが国において、「生活習慣病の蔓延」と「高齢化の進行」が大きな社会問題となっており、ゆえに「健康寿命の延伸」を目指した活動を視野に入れたガイドラインの作成などを、他の学術団体との協力も含めて進めてゆく。また、競技スポーツにおける安全対策、特に熱中症対策やアンチドーピング等についてのガイドライン作成も進めてゆく。
- ・財務委員会
令和5年度予算案の作成
大会における本部企画シンポジウムなどの予算計上について
 - ・評議員選考委員会
ホームページおよび機関誌に公開した評議員選考内規（令和2年2月21日改定）の周知をはかり、評議員推薦申請の増加と同時にとりわけ女性評議員の増加を目指す。
 - ・渉外委員会
 1. 国際交流事業
 - (ア) ECSSオンライン2021年9月
ECSS-JSPFSM Exchange Symposium
産業技術総合研究所 菅原順先生（座長・演者）、徳島大学 三浦哉先生（演者）「動脈ステイフネスと運動トレーニング」
 - (イ) 他の国際学会との連携
 - ①ACCESS（Asian College of Exercise & Sports Science）設立
 - ②その他
 2. 国内関連学術団体との交流・連携
 - (ア) 脳心血管病予防に関する包括的管理合同会議
 - (イ) 国内学会との連携
 - ①日本生理学会大会
 - ②サルコペニアフレイル学会、日本臨床運動療法学会など
 - ・倫理委員会
 1. 会員の研究倫理の意識向上の教育・啓発
 2. 大会の演題応募における倫理的手続きの検討
 - ・広報委員会
 1. ホームページリニューアルに関する検討
 2. その他、本学会に関わる事項の広報活動
 - ・男女共同参画推進委員会
 1. 男女共同参画推進に関する情報収集
2. 学術大会での企画検討・実施
- ・利益相反委員会
情報収集に努める
 - ・全国地方会実行委員会
引き続きコロナ禍での地方会運営について、知恵を出し合い支援する。
- 3) 第76回日本体力医学会大会（三重）の実施
大会長：加藤 公（鈴鹿回生病院病院長）
会 期：2021年9月17日（金）～19日（日）
会 場：オンライン開催
- 4) 第77回日本体力医学会大会（栃木）の準備
大会長：小橋 元（獨協医科大学医学部公衆衛生学講座教授）
会 期：2022年9月20日（火）～23日（金）
会 場：栃木県総合文化センター
4. 令和4年度会計報告（予算）に関する件
（宮川財務委員長）
令和4年度予算書が提示され、令和4年度の収入額合計69,796,100円、支出合計額が68,851,600円で、黒字見込みである旨、報告された。
5. 令和3年度会計報告（会計）に関する件
（宮川財務委員長）
令和3年度決算について、当年度収支としては7,581,018円の黒字となり、次年度繰越金は87,932,006円になったとの報告があった。本決算については公認会計士によるチェックが行われている事が併せて報告があり、清田監事より監査報告が行われたことが報告された。
6. 理事再任に関する件（鈴木理事長）
定款細則、第4章、第5条の2. に基づき、理事の全員が本総会の終結をもって任期満了退任することを議場に報告のうえ、その後理事の再任を議場に諮ったところ、下記の者が満場一致をもって再任されたことが報告された。
理事：赤間高雄、井福裕俊、碓井外幸、太田 真、大野 誠、栗原 敏、小山勝弘、後藤勝正、下光輝一、新開省二、鈴木政登、須田和裕、須永美歌子、武政 徹、竹森 重、田中喜代次、中里浩一、永富良一、成田和穂、西平賀昭、浜岡隆文、前田清司、宮内 卓、宮川俊平、和気秀文
7. その他
- 1) 学会員減少抑制対策における会費自動引き落としシステム導入について（鈴木理事長）
先の定例理事会で承認された、学会員減少抑制対策における会費自動引き落としシステムの導入について、社員総会で審議を諮り、承認されたことが報告された。
- 【審議事項】
1. 評議員推薦に関する件（大野評議員選考委員長）
令和3年度評議員推薦に関しては19名の推薦があ

り、評議員選考規定に従って審査を行い、評議員資格を有するとの報告に基づき、審議の結果、承認された。新評議員（19名）

秋本崇之 石倉恵介 大下和茂
大谷秀憲 小野悠介 北岡 祐

小峰昇一 佐々木一茂 高原皓全
武田紘平 武田ひとみ 時野谷勝幸
土橋祥平 藤田英二 藤田 諒
藤巻 慎 町田正直 宮崎 亮
山形高司

一般社団法人日本体力医学会 令和3年度社員総会 議事録

日 時：2021年9月16日(木)

午後6時00分～午後6時55分

場 所：ZoomによるWeb会議

議 長：鈴木政登

出席理事監事：鈴木政登、確井外幸、西平賀昭、
武政 徹、赤間高雄、太田 真、
大野 誠、後藤勝正、小山勝弘、
下光輝一、須田和裕、須永美歌子、
竹森 重、中里浩一、永富良一、
成田和穂、浜岡隆文、前田清司、
宮内 卓、宮川俊平各理事、
井上 茂、清田 寛各監事

出席社員数：22名（議決権個数22個）

議事録作成者：鈴木政登

議事に先立ち、加藤大会長より、挨拶と第76回大会概要の報告がなされた。続いて、武政常務理事により、“Zoomを用いたWeb形式による評議員会兼社員総会が成立するのか”について説明された。定款によれば、評議員会は現評議員数508名のうち、委任状を含めて過半数（254名）以上の出席があれば開催可能となる。現時点（2021年9月16日午後5時30分）で、評議員Web登録委任状および往復はがき委任状併せて305名、Web理事会に出席している22名の理事、監事は全て評議員であり、合計327名となる。過半数254名を超えたので評議員会の開催が成立する旨、報告された。一方、社員総会については、定款第19条に“社員総会の決議は、出席した正会員の議決権の過半数をもって行う”と記載されており、何人以上の正会員の出席が必要という決まりはない旨、説明された。2021年9月16日のWeb形式社員総会に参加した会員数は22名であり、11名以上の承認によって決議される。尚、例年、評議員会兼社員総会会場に於いて配布される会議資料は日本体力医学会HPに掲載されていることが報告された。

武政常務理事により、Web形式による令和3年度社員総会開催が宣言された。

【報告事項】

1. 令和3年度庶務報告に関する件（武政総務委員長）

1) 会員総数 3,787名（2021年7月31日現在）

名誉会員 33名
正会員 3,696名
シニア会員 46名
外国会員 6名
賛助会員 6団体

公益財団法人石本記念デサントスポーツ科学振興

財団、鶴岡印刷株式会社、公益財団法人明治安田厚生事業団、大塚製薬株式会社、大正製薬株式会社、株式会社ウイスマー

2) 役員数

評議員 508名
(内) 医師 75名
(内) 非医師 433名
(内) 理事 25名
監事 4名

3) 購読数 130団体
体力科学 123団体
JPFMSM 7団体

4) 年度内入退会状況

新入会員 237名
退会者 414名
(内) 申込者 185名
自然退会 229名

2. 令和3年度事業報告に関する件（各委員長）

以下のとおり令和3年度事業について報告された。

1) 事業期間

2020年8月1日～2021年7月31日

2) 委員会活動

・総務委員会

◎本学会の庶務に関する事項

中富健康科学振興賞候補者推薦に関する情報収集、候補者検討2020年7月2日付で依頼のあった中富健康科学振興賞につき、本学会理事である下光輝一氏を中富健康科学振興賞授賞候補者として推薦した（2020年9月7日）。

◎学会大会長に関する事項

第77回大会（栃木）の大会長候補者として、小橋元氏（獨協医科大学医学部公衆衛生学講座教授）を2020年11月20日の理事会において推薦した。

・編集委員会

◎学会誌出版（学会誌刊行に係わる事業及び電子ジャーナル公開）

「The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine (JPFMSM)」

Vol. 9のNo. 4, No. 5, No. 6; Vol. 10のNo. 1, No. 2, No. 3

「体力科学」

Vol. 69のNo. 4, No. 5, No. 6; Vol. 70のNo. 1, No. 2, No. 3

※電子ジャーナルの公開は、J-STAGE『印刷

前公開』での実施

※ DOAJ へのメタデータアップロード開始
(創刊号からのバックナンバーもアップロード済)

◎ JPFISM 掲載論文リストのメール配信

◎ DOAJ 取載に向け投稿規定改訂

論文種別「Study Protocol」を「Study Profile」に変更 (2020.10.28)

剽窃チェックソフト J-STAGE Similarity Check 運用開始 (2020.11.12)

◎ JPFISM 誌, DOAJ (Directory of Open Access Journal) に取載 (2021.1.7)

◎ ジャーナルの活性化対策の検討「特集号」の掲載・企画

注目されている hot topic に焦点を当てた「特集号」を掲載

「JPFISM」Vol. 10, No. 3

第3回特集: Global trends in high-intensity interval training (HIIT) 5編掲載

「体力科学」Vol. 69, No. 6

第4回特集: 労働衛生分野における体力科学研究 5編掲載

・ 学術委員会

1. スポーツ医学研修会委員会

新型コロナウイルス感染拡大を受けて本研修会は本年度も中止の旨2月19日理事会にて報告した。中止の決定は本学会ホームページおよび体力科学70巻2号にて告知した。

2. 称号委員会

「日本体力医学会健康科学アドバイザー®」2021年度: 授与・贈呈者数16名に贈呈した。

※「コロナ禍」で影響を受けている。

3. 学会賞選考委員会

第34回日本体力医学会学会賞候補の選考を行った。

4. ガイドライン検討委員会

「生活習慣病の蔓延」と「高齢化の進行」が本邦で大きな社会問題となっているため、「健康寿命の延伸」を目指した活動を視野に入れたガイドラインの作成などを進めている。さらに、競技スポーツにおける安全対策、特に熱中症対策やアンチドーピング等についてのガイドライン作成も進めている。

・ 財務委員会

令和4年度予算案の作成と令和3年度の予算の適切な執行の確認。

・ 利益相反委員会

情報収集に努めた。

・ 評議員選考委員会

1. 令和2年度新評議員候補者8名を選定し、理事会、評議員会兼社員総会にて承認を受けた。

2. 令和3年度新評議員候補者19名を選定した。

3. 評議員候補者申請書における推薦者3名の署名・捺印を廃止して、各推薦者の氏名と学会員番号の記載のみで済むように簡素化をはかり、あわせて候補者の性別記載については本人の自由意志に任せる方向で申請書の書式を変更する

案を提案することを決議した。

・ 渉外委員会

1. 国際交流事業

1) ECSS オンライン2021 (9月予定)

ECSS-JSPFSM Exchange Symposium

産業技術総合研究所 菅原順先生 (座長・演者), 徳島大学 三浦哉先生 (演者)「動脈ステイフネスと運動トレーニング」(採択)

2) 2020横浜スポーツ学術会議 (2020.9.8-12) のシンポジウム担当

(http://yokohama2020.jp/jp/index_jp.html)

3) 他の国際学会との連携

(1) World Sports Medicine and Health Summit 2021 (ドイツスポーツ医学会主催) 身体不活動撲滅Hamburg宣言2021参加。

(2) ACESS (Asian College of Exercise & Sports Science) 設立準備

2. 国内関連学術団体との交流・連携

1) 脳心血管病予防に関する包括的管理合同会議

2) 国内学会との連携

(1) 日本生理学会大会

(2) サルコペニアフレイル学会, 日本臨床運動療法学会など

・ 倫理委員会

1. 会員の研究倫理の意識向上の教育・啓発

(第75回鹿児島大会にて教育講演実施)

2. 大会の演題応募における倫理的手続きの検討

・ 広報委員会

1. 学会ホームページの管理・運営

・ 男女共同参画推進委員会

1. 男女共同参画学協会連絡会への参加

2. ワークショップ開催に関する検討

・ 全国地方会実行委員会

遠隔での地方会大会を開催する地方会の情報を仲介するとともに、地方会がない地域の解消を目指して甲信越地区に関東地方会の支部を形成することを検討している。

3) 第75回日本体力医学会大会の実施

大会長: 徳田修司 (鹿屋体育大学特任教授・鹿児島大学名誉教授)

会期: 2020年9月24日(木)~26日(土)

会場: Web開催

4) 令和4年度日本体力医学会健康科学アドバイザー® 称号認定者

・ 継続 12名

五十嵐美生 一場友実 蕪木智子

沢田秀司 志内哲也 進藤大典

新屋敷紀美代 谷口圭吾 中川和昌

松元隆秀 三輪雅子 和田浩

・ 終身 4名

江川賢一 星川佳広 前岡修二

吉田泰行

3. 令和4年度事業計画に関する件 (各委員長)

令和4年度事業計画について、以下のような報告がなされた。

1) 事業期間

2021年8月1日～2022年7月31日

2) 委員会活動

・総務委員会

第78回佐賀大会の大会長の推薦

中富健康科学振興賞候補者推薦に関する申し合わせの見直し

学会総務に関わる規則の見直し

・編集委員会

1. ジャーナルの発行、公開 (J-STAGE, DOAJ)

JPFMSM: Vol. 10-4～11-3 (合計6号)

体力科学: Vol. 70-4～71-3 (合計6号)

2. 掲載論文数を増やす

[JPFMSM]: 特集を掲載する.

[体力科学]: 特集を掲載する.

3. 「ACSM運動処方指針」の翻訳本の出版について南江堂と調整

4. JPFMSMに掲載する大会抄録における研究倫理記載事項の検討

・学術委員会

1. スポーツ医学研修会委員会

第31回スポーツ医学研修会(於日体大)の実施(学会HP・体力科学に案内を掲載)

※令和2年度および3年度に中止した第31回スポーツ医学研修会を実施.

2. 称号委員会

日本体力医学会健康科学アドバイザー®の審査を申請により実施する.

[称号の有効期間である5年間(継続申請のための再研修基準として、5年間で10点の研修単位が必要.)に、令和2年(2020年)度と令和3年(2021年)度分をカウントしない(除いて5年間の意.)] 詳細は以下の通りとする. 尚、令和3年(2021年)度中に、5年間で研修単位10点を満たし、継続申請をされた方には、例年通りに称号を付与する.

<2020年度分及び2021年度分を除く有効期間5年間について>

※2015年度からの5年間分は、2020年度及び2021年度を除く2022年度分までの5年間の研修単位10点で称号付与

※2016年度からの5年間分は、2020年度及び2021年度を除く2023年度分までの5年間の研修単位10点で称号付与

※2017年度からの5年間分は、2020年度及び2021年度を除く2024年度分までの5年間の研修単位10点で称号付与

※2018年度からの5年間分は、2020年度及び2021年度を除く2025年度分までの5年間の研修単位10点で称号付与

3. 学会賞選考委員会

第35回日本体力医学会賞候補の選考を実施

4. ガイドライン検討委員会

わが国において、「生活習慣病の蔓延」と「高齢化の進行」が大きな社会問題となっており、ゆえに「健康寿命の延伸」を目指した活動を視野

に入れたガイドラインの作成などを、他の学術団体との協力も含めて進めてゆく。また、競技スポーツにおける安全対策、特に熱中症対策やアンチドーピング等についてのガイドライン作成も進めてゆく。

・財務委員会

令和5年度予算案の作成

大会における本部企画シンポジウムなどの予算計上について

・評議員選考委員会

ホームページおよび機関誌に公開した評議員選考内規(令和2年2月21日改定)の周知をはかり、評議員推薦申請の増加と同時にとりわけ女性評議員の増加を目指す。

・渉外委員会

1. 国際交流事業

(ア) ECSSオンライン2021年9月

ECSS-JSPFMSM Exchange Symposium

産業技術総合研究所 菅原順先生(座長・演者)、徳島大学 三浦哉先生(演者)「動脈ステイフネスと運動トレーニング」

(イ) 他の国際学会との連携

① ACCESS (Asian College of Exercise & Sports Science) 設立

② その他

2. 国内関連学術団体との交流・連携

(ア) 脳心血管病予防に関する包括的管理合同会議

(イ) 国内学会との連携

① 日本生理学会大会

② サルコペニアフレイル学会、日本臨床運動療法学会など

・倫理委員会

1. 会員の研究倫理の意識向上の教育・啓発

2. 大会の演題応募における倫理的手続きの検討

・広報委員会

1. ホームページリニューアルに関する検討

2. その他、本学会に関わる事項の広報活動

・男女共同参画推進委員会

1. 男女共同参画推進に関する情報収集

2. 学術大会での企画検討・実施

・利益相反委員会

情報収集に努める

・全国地方会実行委員会

引き続きコロナ禍での地方会運営について、知恵を出し合い支援する。

3) 第76回日本体力医学会大会(三重)の実施

大会長: 加藤 公(鈴鹿回生病院病院長)

会期: 2021年9月17日(金)～19日(日)

会場: オンライン開催

4) 第77回日本体力医学会大会(栃木)の準備

大会長: 小橋 元(獨協医科大学医学部公衆衛生学講座教授)

会期: 2022年9月20日(火)～23日(金)

会場: 栃木県総合文化センター

4. 令和4年度会計報告（予算）に関する件

（宮川財務委員長）

令和4年度予算書が提示され、令和4年度の収入額合計69,796,100円、支出合計額が68,851,600円で、黒字見込みである旨、報告された。

5. 評議員推薦に関する件（大野評議員選考委員長）

令和3年度評議員推薦に関しては19名の推薦があり、評議員選考規定に従って審査を行い、評議員資格を有するとの報告に基づき、評議員会にて承認された旨、報告がなされた。

新評議員（19名）

秋本崇之	石倉恵介	大下和茂
大谷秀憲	小野悠介	北岡 祐
小峰昇一	佐々木一茂	高原皓全
武田紘平	武田ひとみ	時野谷勝幸
土橋祥平	藤田英二	藤田 諒
藤巻 慎	町田正直	宮崎 亮
山形高司		

【審議事項】

1. 令和3年度会計報告（会計）に関する件

（宮川財務委員長）

令和3年度決算について、当年度収支としては7,581,018円の黒字となり、次年度繰越金は87,932,006

円になったとの報告があった。本決算については公認会計士によるチェックが行われている事が併せて報告があり、引き続き清田監事より監査報告が行われ、審議の結果、承認された。

2. 理事再任に関する件（鈴木理事長）

定款細則、第4章、第5条の2. に基づき、理事の全員が本総会の終結をもって任期満了退任することを議場に報告のうえ、その後理事の再任を議場に諮ったところ、下記の者が満場一致をもって再任された。

理事：赤間高雄、井福裕俊、碓井外幸、太田 真、大野 誠、栗原 敏、小山勝弘、後藤勝正、下光輝一、新開省二、鈴木政登、須田和裕、須永美歌子、武政 徹、竹森 重、田中喜代次、中里浩一、永富良一、成田和穂、西平賀昭、浜岡隆文、前田清司、宮内 卓、宮川俊平、和気秀文

3. その他

1) 学会員減少抑制対策における会費自動引き落としシステム導入について（鈴木理事長）

先の定例理事会で承認された、学会員減少抑制対策における会費自動引き落としシステムの導入について、本会で審議を諮り、承認された。

一般社団法人日本体力医学会臨時理事会（2021年9月）議事録

日 時：2021年9月16日(木) 午後6時55分～7時00分

場 所：ZoomによるWeb会議

議 長：鈴木政登

出席者：鈴木政登、碓井外幸、西平賀昭、武政 徹、赤間高雄、太田 真、大野 誠、後藤勝正、小山勝弘、下光輝一、須田和裕、須永美歌子、竹森 重、中里浩一、永富良一、成田和穂、浜岡隆文、前田清司、宮内 卓、宮川俊平各理事、井上 茂、清田 寛各監事

欠席者：井福裕俊、栗原 敏、新開省二、田中喜代次、和気秀文各理事、小林康孝、定本朋子各監事

鈴木政登理事が仮議長として、出席者の音声が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態になっていることを確認のうえ、開会した。

【審議事項】

1. 理事長・副理事長・常務理事の再任について

（鈴木政登理事）

先に開催された社員総会において決議されて理事の中から、理事長に鈴木政登理事、副理事長に碓井外幸理事、西平賀昭理事、常務理事に武政 徹理事が選ばれ、審議の結果、承認された。

第26回日本体力医学会東海地方会のご案内

日 時 2022年3月19日(土) 9:00~17:40
 会 場 Zoomによるオンライン開催
 大会長 馬場礼三 (中部大学生命健康科学部 教授)
 会 費 無 料
 予定プログラム

- 1) 一般演題
- 2) 総 会
- 3) 特別講演
 「運動が誘因となる喘息, アナフィラキシー」
 本村知華子 (国立福岡病院)
- 4) シンポジウム 1
 「こどもの体力科学研究のこれまでとこれから」
 馬場礼三 (中部大学), 中野貴博 (中京大学)
 紙上敬太 (中京大学), 香村恵介 (名城大学)
- 5) シンポジウム 2
 「健康科学・体力科学分野におけるメカノバイオ
 ロジー研究の可能性」
 片野坂公明 (中部大学), 堀天 (日本学術振興会)
 岩田全広 (日本福祉大学)

参加登録事前申込

- ・ 必須 (Zoom アドレス等の送付のため)
 参加希望者は, 以下の google forms で事前登録を行
 なってください
<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfHLhjfpwJh1lrpBEN56h40D5dVPuNnew1sLJaR6gipX-WOLRg/viewform>
- ・ 参加登録事前申込の締切日: 2022年3月13日(日)
 (3/17までにE-mailにてZoomアドレスをお知らせ
 します)
- ・ 3/13以降も随時参加受け付けますが, Zoom アドレ
 スの送付が間に合わない可能性があります

一般演題申込

- ・ 参加登録申し込み後, 一般演題申込用ファイルをご
 準備下さい
- ・ 演題申込の締切日: 2022年2月6日(日)
- ・ 提出先 horinori@isc.chubu.ac.jp
- ・ 一般演題申込用ファイルは提出先E-mailまで請求
 下さい

一般演題募集要項

- ・ Zoomの画面共有でご発表頂きます
- ・ インターネットへは有線での接続を推奨します
- ・ 発表者が非会員の場合演題登録料 (体力科学掲載料
 含む) 3,000円を徴収いたします
- ・ 一般演題から1-2演題を選出し, 「奨励賞」を授与
 致します

対象者 年齢が40歳未満

日本体力医学会会員

本奨励賞を過去に受賞していない者

健康運動指導士・健康運動実践指導者単位

健康運動指導士・健康運動実践指導者の登録更新単位
 は健康・体力づくり事業財団へ個別申請をしてください

【学会参加における個別単位申請について】

[https://www.health-net.or.jp/shikaku/syoyuusya/
 pdf/gakkaitani_kojin_210112.pdf](https://www.health-net.or.jp/shikaku/syoyuusya/pdf/gakkaitani_kojin_210112.pdf)

学会参加の参加証は学会当日Zoomを介してお渡しし
 ます

連絡先

第26回日本体力医学会東海地方会学術集會事務局

堀田典生 (中部大学生命健康科学部)

TEL: 0568-51-9667

E-mail: horinori@isc.chubu.ac.jp

第174回日本体力医学会関東地方会のご案内

会 期：令和4年4月23日(土) 13時～17時
 会 場：東京慈恵会医科大学 大学1号館3階講堂
 (東京都港区西新橋3-25-8)
 ハイブリッド方式(Web配信あり)
 テーマ：メタボリックシンドロームとフレイルへの対策
 に貢献する身体活動・体力の意義
 会 長：吉田 博
 東京慈恵会医科大学 臨床検査医学講座 教授
 東京慈恵会医科大学附属柏病院 副院長
 事務局：秋月 摂子 講師
 (臨床検査医学講座・柏病院中央検査部)

開会挨拶：吉田 博 (東京慈恵会医科大学教授・第174
 回地方会長)
 特別講演：動脈硬化予防のための運動療法・身体活動
 (仮題)
 50分セッション
 演者：昭和大学医学部循環器内科
 教授 木庭新治 先生
 座長：東京慈恵会医科大学附属柏病院副院長・
 臨床検査医学講座教授 吉田 博

シンポジウム：メタボリックシンドロームおよびフレイ
 ル対策としての身体活動・運動
 90分セッション
 座長：東京医科大学公衆衛生学分野
 主任教授 井上 茂 先生
 東京慈恵会医科大学分子生理学講座
 教授 竹森 重 先生

演者：首都大学東京 助教 古市泰郎 先生
 「生化学・生理学系の話題」
 早稲田大学 教授 宮下政司 先生
 「メタボリックシンドロームと運動療法」
 国立健康栄養研究所 小野 玲 先生
 「フレイル対策と身体活動・運動」
 東京医科大学 講師 菊池宏幸 先生
 「日本人の身体活動の現状とその推進-次期健康
 日本21」

一般演題 1 演題あたり発表7分、質疑3分
 (10演題で100分)
 座長予定：山内秀樹 先生 (東京慈恵会医科大学講師)、他
 総括・講評：鈴木政登 先生 (東京慈恵会医科大学客員
 教授・日本体力医学会理事長)
 閉会挨拶：吉田 博 (東京慈恵会医科大学教授・第174
 回地方会長)

* コロナ禍の社会情勢のため上記予定企画に変更がある
 場合がございます

第174回関東地方会事務局
 Tel: 04-7164-1111 ext. 2284
 E-mail: tairyoku-kanto174@jikei.ac.jp

第34回日本体力医学会北陸地方会のご案内

開催日 2022(令和4)年6月5日(日)

日程概要

- 9:30～ 参加者受付
 10:00～10:10 開会挨拶
 10:10～11:30
 特別講演 講師：橋本健志（立命館大学スポーツ健康科学部 教授）
 演題：未定（生化学からみた健康・体力に関する内容の予定）
 11:30～12:30 昼食休憩・懇親会
 12:30～13:20 社員総会
 13:30～14:50
 シンポジウム：covid-19流行下における健康・体力づくり（事例報告）
 15:00～16:30 一般口演（研究発表）
 16:30～16:35 閉会挨拶

場 所

富山地鉄ホテル11階 多目的ホール「アルシェフ」
 〒930-0003 富山市桜町1-1-1
 (JR富山駅南口 東に隣接) Tel: 076-442-8154

【お断り】現在のところ上記のとおり対面での開催を計画していますが、covid-19蔓延悪化等の状況に至った場合は、社会情勢をふまえて、大会内容を変更・縮小または中止する可能性がありますことをご了承ください。

参加申込

「参加申込および一般口演発表申込の要領」をご参照の上、大会事務局へ送信ください。

参加申込の締切：2022年5月15日(日)17時、一般口演発表申込の締切：3月20日(日)とします。

参加費

1,000円（軽食代を含む。大会当日に受付にて申し受けます。）

発表抄録

一般口演発表申込者は、抄録原稿（電子データ）を大会事務局e-mailへ送信ください（締切：3月20日）。学会誌「体力科学」掲載原稿の書式（25字×36行＝900字以内）に従い、MS-Wordにて作成願います。

発表方法

一般口演発表時間15分（発表10分、討論5分）の予定。MS-PowerPointによるスライド映写とします。

大会後援

本大会は、日本健康運動指導士会富山県支部の後援をいただきます。また、健康運動指導士・健康運動実践指導者の登録更新認定講習会として、(公財)健康・

体力づくり事業財団へ申請する予定です。

照会先

大会事務局 岡本 啓（おかもと ひろし）
 富山県立大学教養教育センター健康科学研究室
 e-mail: okamoto@pu-toyama.ac.jp
 〒939-0398 富山県射水市黒河5180
 Tel: 0766-56-7500 (代) Fax: 0766-56-6117

【参加申込の要領】

申込締切：2022年5月15日(日)17時

以下のQRコードに掲載する「第34回日本体力医学会北陸地方会大会 参加申込フォーム」をご利用のうへ、お申し込みください。(covid-19下にあつて、大会参加者を確実に把握するため、必ず事前の参加申込をお願いします。大会当日の参加申込は、受付致しかねます。)

いったん「参加申込フォーム」を送信した後、参加を取り止める場合は、大会前日の6月4日(土)午前までに、大会事務局(okamoto@pu-toyama.ac.jp)へ電子メールにてご連絡願います。

QRコード：



【一般口演発表申込の要領】

申込締切：2022年3月20日(日)

ソフトウェアMS-Wordを使用して、学会誌「体力科学」掲載原稿の書式（25字×36行＝900字以内、表題・著者名・所属名を含む）に設定のうへ、発表抄録用原稿を作成願います。所定の書式に収まらない場合には、大会事務局にて発表の趣意を損なわない範囲内で文言の修正を行なうことがありますので、ご了承ください。

作成した抄録原稿の電子データ（MS-Wordファイル）を大会事務局(okamoto@pu-toyama.ac.jp)へ電子メールにて送信いただくことをもつて、発表申込いたします。抄録原稿を受信しましたら、大会事務局より発表申込受付の旨を返信いたします。

なお、発表筆頭者（筆頭著者）が日本体力医学会の会員ではない方で、学会誌「体力科学」へ発表抄録の掲載を希望する場合は、大会当日に受付にて掲載料3,000円の納付をお願いします。

編 集 後 記

第71巻1号では、第77回日本体力医学会大会のご案内(第2報)、第76回日本体力医学会大会指定演題のほか、総説1編、原著2編などを掲載いたしました。

さて、2021年は2020年に引き続いてコロナ禍の1年でした。2021年9月の第76回日本体力医学会大会は前年に続いてオンライン開催となりました。

コロナ禍でテレワークやステイホームが推奨されるなか、健康維持のための運動の重要性が再認識されることになりました。スポーツ庁は、運動不足による健康二次被害を予防するためにリーフレットやガイドラインを公開して、Withコロナ時代の安全な運動・スポーツを呼び掛けています。日本体力医学会としても、コロナ禍の「新しい生活様式」のなかでの健康づくりにスポーツ医科学の面で貢献していくことが社会から求められています。

また、2021年夏には、1年延期された東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されました。新型コロナウイルス・パンデミックの大きな波のなか、参加選手には厳格なCOVID-19対策がもとめられて、無観客での開催という厳しい状況でした。そのなかで、オリンピック日本代表選手は獲得金メダル数と獲得総メダル数ともに史上

最多、パラリンピック日本代表選手は獲得総メダル数が史上2番目という好成績をあげて、大会は大きく盛りあがりました。しかし、開催前には、開催に反対する意見も多く、スポーツに関わる者として「スポーツの社会的価値」をあらためて考える機会ともなりました。

東京オリンピック・パラリンピック競技大会の招致決定後は、日本のスポーツ界は東京2020大会の開催に向けて突き進んできましたが、大会後の今年は新しいステージに入ることとなります。2021年の10月～12月は、幸いなことにCOVID-19新規感染者数が低く抑えられました。オミクロン株という感染力が強い新たな変異株の出現によって感染の再燃が懸念されており、未だコロナ禍の収束は見通せません。しかし、2022年は、コロナ禍として東京オリンピック・パラリンピックを経験した後の我が国において、日本体力医学会はさらに重要な役割を果たしていかなければなりません。会員の皆様におかれましては、ますます研究成果をあげられ、本誌「体力科学」と「JPFSM」への活発な投稿をお願いいたします。

赤間 高雄

The Japanese Journal of Physical Fitness and Sports Medicine Vol.71, No.1

体 力 科 学 第71巻第1号

令和4年1月25日 印刷
令和4年2月1日 発行

編集兼発行者
発行所

後藤 勝 正
一般社団法人日本体力医学会
〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13
ユニゾ小石川アーバンビル4階 学会支援機構内
TEL: 03-5981-6015 FAX: 03-5981-6012
E-mail: jspfsm@asas-mail.jp

編集事務局

〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1
鶴岡印刷株式会社内
TEL: 0235-22-3120 FAX: 0235-22-3120
E-mail: hj-tairyoku@turuin.co.jp

印刷所

〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1
鶴岡印刷株式会社
